



## よむこさん がんばってます

今年度は、久根別小児童の保護者2名、久根別小卒業児童の保護者2名、CS(コミュニティスクール)の学校運営委員1名が「よむこさん」として、読み聞かせを行っています。

7月に1回目の活動があり、よむこさんが選んだ学年に応じた絵本を各学級で読みました。子供たちの真剣な眼差し、読み聞かせ後の元気なお礼の言葉に癒されます。



## ☆一緒に読み聞かせをしませんか

- (目的) 久根別小の児童に、より読書に親しんでもらえるように活動しています。
- (活動) 各学級で、本・絵本・紙芝居での読み聞かせを行います。
- (活動時間) 1・2学期の朝8時10分から10分程度
- (活動回数) 月3回程度
- (担当) 南部 090-1306-7643 ※興味のある方の連絡をお待ちしています。



## 夏休み中の活動 ~子供たちと一緒に~

### ラジオ体操

6年生と北斗市ラジオ体操コンクールに参加した児童が中心に、朝のラジオ体操のお手本となり、地域の活動を盛り上げてくれました。



### ゴミ拾い

7月30日と8月8日の2回、3年生と5年生の児童が通学路のゴミ拾いを地域の人と行いました。家の周りには、ゴミはほとんどありませんでしたが、空き地や踏切の近くにはたくさんのゴミがありました。

飲んだり、食べたりした後のゴミは、責任を持って処理をしてほしいと思います。



# コミュニティ・スクール(CS)って、何？

## 法的根拠があります

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子供たちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教行法第47条の6）に基づいた仕組みです。

どんな  
仕組み？



## 地域が学校運営に参画します

コミュニティ・スクールには、保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりすることができます。これらの活動を通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させ、特色ある学校づくりが進むことを期待できます。

意義



## 北斗市と久根別小学校の願い

願い

学校と地域の主体的な取組を通して地域の活性化が図られることを願いとしています。地域と学校が連携することで、非行を防止し、犯罪や交通事故からも子どもたちを守り、保護者、子供たちの悩みなどを気軽に相談できる体制づくりを目指しています。

